

新しい北区基本計画（素案）への意見・提案募集結果

1 実施期間

平成22年9月24日（金）～10月29日（金）

2 提出方法

- (1) 持参（区役所等内のパブリックコメント募集箱を含む）
- (2) F A X
- (3) メール
- (4) 郵送

3 募集結果

- ・60名から意見が提出。

(1) 性別・年齢別

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	不明	合計
男性	0	3	2	0	6	3	8	1	2	25
女性	0	0	1	0	4	9	3	0	0	17
不明	0	0	0	1	0	0	0	0	17	18
合計	0	3	3	1	10	12	11	1	19	60

(2) 居住地別

	北区在住	北区通勤・通学	不明
人数	35	6	19

(3) 提出方法

	持参	F A X	メール	郵送
人数	20	16	17	7

(4) 項目別

	1 北区基本計画(素案)についての意見	2 計画の愛称	3(1) まちの良いところ	3(2) (1)を伸ばすための取組	3(3) まちの気になるところ	3(4) (3)を解決するための取組	3(5) (4)の取組にどのようにかかわることができるか
人数	55	28	33				
件数	76	28					

北区基本計画パブリックコメントに寄せられたご意見とその対応について（案）

1 計画に反映させていただくご意見

北区基本計画に直接反映すべきご意見として受け止め、以下のとおり対応させていただきます。

ご意見	ご意見への対応
<ul style="list-style-type: none"> ・円卓会議で何を議題とし、何を協議し、その結果がどうなったのか？ どうする案になったのか。 ・未来への年賀状の意図が何なのか？何を希望しようとしているのか？何が聞きたいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、円卓会議や100人委員会でどのような意見が出されて計画策定につながったかについて「はじめに」において記述します。 ・ご意見を踏まえ、「未来への年賀状」の目的について「はじめに」において記述します。
<p>区民が主人公となってまちづくりを進めるとありますが、区民を定義する必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「はじめに」において区民の定義を記述します。</p> <p>「区民とは、北区の住民のほか、北区に通勤する人、通学する人など北区で活動する人も、北区のまちづくりに関わる一員となっていただくことを期待して、区民に含めることとします。」</p>
<p>京都市が策定している「みんなで目指そう！ごみ半減！循環のまち・京都プラン」では、2Rの推進となっている。でも北区の計画では依然として3Rとなっていますね。どちらを目指すのか。市の中で矛盾があります。</p>	<p>新しい京都市基本計画（答申）において、環境分野の推進施策として「2Rの推進」と「リサイクルの推進」が挙げられており、北区では合わせて「3R」の表記とします。</p> <p>第3章 北区のまちの将来像を実現するための施策・取組</p> <p>1 環境と共生した持続可能なまちの創造</p> <p>(2) 環境負荷の低減に向けた取組の推進</p>

ご意見	ご意見への対応
<p>「区民主体で取り組む地域活動の創造」として、地域コミュニティ活動の活性化に向けた積極的な取り組み内容がさかんに書かれている。しかし、「2まちづくりの方向性と課題」で、課題として掲げられている「役員の負担の軽減を図る」という視点は盛り込まれていない。課題として掲げているのであれば、それを解消するための施策という視点で記載する必要があるのではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、以下の項目にある「自治会役員など活動の中心となる人材の不足や高齢化等を踏まえ」を「自治会役員など活動の中心となる人材の不足や高齢化により役員負担の軽減が求められている現状等を踏まえ」に変更します。</p> <p>第3章 北区のマチの将来像を実現するための施策・取組 2 区民主体で取り組む地域活動の創造</p>
<p>大学を地学連携の視点でしかとらえていないが、大学の本来の役割は研究。掲げられた施策を進めるうえで、どのように大学の研究成果を生かすのか、という観点で記載すべきではないでしょうか。学生を用いて地域とのふれあいを持つのはよいことだと思いますが、大学でなくても。大学でなければできないことは研究ですし、北山杉の活用や文化財の保護といったことこそ、研究成果を活用すべきだと思うのですが。少なくとも、大学コンソーシアムは地域と大学をつなぐことだけが目的ではないと思います。大学の垣根を超えた研究にあると思います。</p>	<p>ご意見を踏まえ、以下の項目にある「北区内4大学の連携によるまちづくりの推進」を「北区内4大学の専門知識、研究成果を生かしつつ、連携したまちづくりの推進」にします。</p> <p>第3章 北区のマチの将来像を実現するための施策・取組 6 大学の力が活かされるまちの創造 (1) 大学とともにすすめるまちづくり</p>
<p>北山三学区とか北区内4大学(三、四?字を統一すればいいのに)の具体的な名称を添えていただかないとわかりません。</p>	<p>ご意見を踏まえ、注釈を入れるなど改めます。</p>
<p>学童保育所の充実。</p>	<p>ご意見を踏まえ、以下の項目の主要な取組例に「子どもの居場所づくり」を追加します。</p> <p>第3章 北区のマチの将来像を実現するための施策・取組 7 地域ぐるみで応援する子育て環境の創造 (2) 安心して子育てができる環境づくり ○保育サービスの充実と子どもの居場所づくり</p>

ご意見	ご意見への対応
<p>第5章に「今後、一層、地域のことは、できるだけ地域の力で解決することが求められます」と書かれているが、「なぜ」というところが書かれていない。このままだと「京都市は財政難だし、人員も削減されているから、地元におしつけようとしている」ととらえられるのでは。地元で活動している者としては、地域の力で解決するためには、その裁量権と金を地元で与えるよう工夫すべきと考える。そのことが地域の活性化につながるのではないか。そういう文脈で記載して、まちづくり推進課の仕事を見直すべき。</p>	<p>ご意見を踏まえ、以下の項目の文章を修正します。</p> <p>「区民は、目指すまちの将来像の実現に向けて、北区のまちの将来を真剣に考えるとともに、地域の事情を一番良く知っているのは地域の人であることから『自分たちのまちは、自分たちでつくる』、『まちの課題は、まちの力で解決する』を基本に、まちの主人公としての自覚を持ち、まちづくりに取り組みます。北区役所は、地域で活動する多様な主体と連携しながら、区民の取組を支える仕組みづくりを進め、区民が主人公のまちづくりを支援します。」</p> <p>第5章 北区基本計画をすすめるために 1 区民が主人公のまちづくり</p>
<p>「共汗」という言葉が出てくるのは気になる。10年間の計画というのなら、はやりの言葉ではなく、10年後も正しく伝わる言葉（辞書にのっているような言葉）を使うべきではないか？</p> <p>「共汗」という言葉について。これって10年間の計画ですよ。現政権では共汗をフレーズにする。これは「改革なくして成長なし」みたいなものだし、使用するはお任せします。選挙の結果でもあるし。でも、10年間を担保するなら、共汗でないほうが風化しないと思うけど。せっかくこれまで市民参加を進めてきたんだし、その結果をきちんと記載したほうがいいのではないかなあ。</p>	<p>ご意見を踏まえ、計画のスローガンとして使用している「共汗」は残しますが、それ以外は一般用語である「協働」に修正します。</p>

2 計画（素案）に記述している施策などに関連するご意見・ご提案

北区基本計画（素案）に記述している施策などに関連するご意見・ご提案として、具体的取組を推進していく際に参考にさせていただきます。

ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に関連する施策など
<p>京都を訪れ先ず接するのは「山河の風景」である。風景の代表の一つが賀茂川である。この賀茂川の中州が自然美と言うより放置された風景と見られるのではないかと。鳥類の棲家としての反対は強い由であるが御蔭橋（又はもう一つ北の橋）以南は無くしても良いと思う。鳥は棲家が若干遠くなるが苦にすることは無かろう。実施予算については「仕分作業」が必要だろうが河川整備（洪水対策）については主管の国（府）が協力してくれると思う。</p>	<p>第3章 北区のまちの将来像を実現するための施策・取組</p> <p>1 環境と共生した持続可能なまちの創造</p> <p>(1) 緑豊かな自然環境の保全</p>
<p>東京に住んでいる兄弟、妹たちは、ここへ帰って来るとほっとすると申します。下京区に住んでいる友人やタクシーの運転者などは大変うらやましいと言われます。それほど春夏秋冬、花あり、緑ありのこの地区は大切に次の世代に送らなければなりません。老木の横に次の世代のための若木を植えることを提案します。（昔、祖父母の時代に若木を植えたことを聞いています。）</p>	
<p>花などをうえたりすることによって、職も増やせる。</p>	
<p>基本はあまり手を加えず、自然を守って下さい。加茂川でも、大きな木がばっさいされ、河川敷は、コンクリートで固められているのを見ると悲しいです。初夏の緑が少なく、真夏の日差しを直接受けての散歩や若い人々のグループなどをみるにつけ、木陰が多くあるともっと楽しくなると思います。北大路橋から西加茂橋の西側にはありません。</p>	
<p>もっとボランティアの活用を考えたらどうか。例えば、1 道路の清掃、2 孤独な老人とのコンタクト、3 歴史の調査・広報、観光への利用、4 木材の有効利用（案内版の使用等）その他まだあると思います。</p>	<p>第3章 北区のまちの将来像を実現するための施策・取組</p> <p>2 区民主体で取り組む地域活動の創造</p> <p>(1) 地域のコミュニティ活動を活性化させるための仕組みづくり</p> <p>(2) 地域のコミュニティ活動を支える人材づくり</p>
<p>北区地域力の向上という目標を支持します。そのために、我々区民がもっと積極的に地域活動に参加しなければならないと思います。区役所はその為の支援をして頂きたいのですが、どのようにしたら良いか分かりません。どういう仕組みを作ると良いのか計画を進める中で議論していただきたいと思います。</p>	
<p>気軽に地域の人に参加できる憩いの場も必要だと思います。</p>	

ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に関連する施策など
ふれあい事業をしてほしい。一般教養講座。	第3章 北区のまちの将来像を実現するための施策・取組 3 北区らしい生涯学習・文化活動の創造 (3)生涯学習活動・生涯スポーツ活動の推進
地産地消，京野菜の朝市・直売等が有れば大勢の人に買ってもらえると思います。	第3章 北区のまちの将来像を実現するための施策・取組 4 北区の特色ある産業を生かした活力の創造 (1)北区の伝統ある農林業，製造業等の活性化
個人商店の存在「あるだけでも意味があります」。商店街組織がない，ポツンポツンとある商店のつなぎ合わせや組織化をぜひ行政が声かけ役（地元の方が言ってもなかなか進みにくい）になってほしいです。	第3章 北区のまちの将来像を実現するための施策・取組 4 北区の特色ある産業を生かした活力の創造 (2)地域に根ざした商店街づくり
商店街の活性化については，まちのにぎわいという切り口だけでは10年前と変わらない。北区のまちの姿の章で高齢化が進展していると分析しているのであれば，買い物難民の解消機能など，コミュニティの核としての役割を記載すべきではないか。	
地区の歴史を重視して観光に生かすのが良いと思います。	第3章 北区のまちの将来像を実現するための施策・取組 5 歩いて楽しい魅力的な観光の創造
「未来・京都観光振興計画2010+5」では，市民こそが京都ファンになり，観光客に対して京都の魅力を伝える責務があることが記載されている。「旅行者をあたたくむかえましょう」が京都市市民憲章。北区の歴史や文化を観光客に伝えるのは区民の責務，役割だと思いますので，追加してはどうでしょうか。	
観光案内（歴史を深くほりさげ）をくわしく掲げる。	
留学生は外交官ですから，気持ちよく学び，暮らし，成果をあげて帰国していただけるようにサポートすべきです。大々的に詳しいアンケートを実施されて，要望をきかれるといいと思います。	第3章 北区のまちの将来像を実現するための施策・取組 6 大学の力が生かされるまちの創造 (2)留学生が住みやすいまちづくり
左京区とともに比較的高学歴高所得の生活にユトリのある世代が多いと思うが反面高齢者，独居高齢者の世帯が多くまたお互いの生活への相互不可侵の気風が強いように思う。このため下記項目への喫緊の具体策が必要と思う。 ・災害発生時の対応，地区共助のシステムが乏しい ・地域での共助，共救の意識，体制が乏しい	第3章 北区のまちの将来像を実現するための施策・取組 8 健康で安心して住み続けられるまちの創造 (2)安心・安全のまちづくり (3)地域における福祉活動の推進

ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に関連する施策など
<p>個人情報保護法とかで個人の情報を調査することが禁止されているため(プライバシーの保護とかで) 独居老人の死後発見が遅れるというケースが全国でみうけられる。行政としては、問題と思うケースはチェックして、たびたび訪問するとかして対応するのがよい。</p>	<p>第3章 北区のまちの将来像を実現するための施策・取組 8 健康で安心して住み続けられるまちの創造 (2)安心・安全のまちづくり (4)高齢者の生活支援と社会参加の促進</p>
<p>猿被害(柿, イチゴ, トマト等)が出て来ている。太田神社の裏山のふもと、岡本町です。ドーンと音がでる丈で対策はないのか。去年から二年続き、小さい子は怖がるし、堀の上を10匹ほどがうろうろして、歯をむき出して怖い。どうかかしてほしい。</p>	<p>第3章 北区のまちの将来像を実現するための施策・取組 8 健康で安心して住み続けられるまちの創造 (2)安心・安全のまちづくり ○野生鳥獣による被害対策の推進</p>
<p>特に道路・歩道のデザインを考える。</p>	<p>第3章 北区のまちの将来像を実現するための施策・取組 9 便利で快適な生活基盤の整ったまちの創造 (1)生活を支える施設環境の充実 ○安全で快適に通行できる道路環境づくり</p>
<p>車道と歩道の段差をなくしカラーで分ける。</p>	
<p>山間部に住んでいる者にとっては、もっと都市部との格差を無くし、若い人が住めるような住環境、インフラ整備をすれば現状とは異なる新しい展望が開けようではないか。道路等の事については何の計画も見当たらないが右京区を(国道162号)を通らなくても、北山の山間部の集落を網羅するような道路があってこそ北区は一つ。京北町が右京区になった今、北部山間部の住人は右京区民のよう(買い物<周山>, 道路<162号><西部土木>, 警察)。こんな気持ちを解消できるような北区基本計画であってほしい</p>	
<p>原谷地区へのバスについて(切実なお願いです) 原谷, 赤坂, 氷室とずいぶん高齢化が進んでいます。今の様なバス時間では皆困っています。せめて1時間に2本30分おきにあればどんなに助かるか・・・。今一度といわず二度三度御検討をお願いします。高齢になり自家用車をやめた方がいっぱいいらっしゃいます。足腰も弱ってきます。回数が増えればもっと沢山の方が乗られると思います。どうぞよろしくお願いします。</p>	<p>第3章 北区のまちの将来像を実現するための施策・取組 9 便利で快適な生活基盤の整ったまちの創造 (2)利便性の高い交通環境づくり</p>
<p>環境にやさしい町になるためには交通問題も大きく関わって来ると思います。私の住んでいる西賀茂は西賀茂車庫から歩いて20分かかります。住宅を購入する時に地域の長老の方(土地所有者)がゆくゆくはバスが通りますとおっしゃっていましたが、いまだに、5年を過ぎましたが、心ある方が「バスを走らせて!!」と運動されているのにも関わらず、実現する見通しすらありません。1日も早く予算化なりして頂いてバスを走らせて下さい。切にお願いします。</p>	

ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に関連する施策など
<p>リーフレットを読みました。第9条の4項（原谷地域のまちづくり）。その中でも特に関心のあるのは「新しい公共交通システムの検討」です。（無理に公共で無くとも良いと思うが）</p> <p>私が高知県から当地へ越してきたのは平成元年12月。当時、私はまだ57歳。この地の人口は3,000人と聞いていた。考えてみれば、車さえあれば、僅か5分で下まで行けるし、空気はきれいで緑は多く、夜は静かで、家内共々大満足であった。</p> <p>如何ともし難いのは、交通機関の問題。人口はその後順調に増え続け、今や5,000人を越える状態にも関わらず、交通の唯一の期間であるバスの便が少なく、非常に不便を感じている。特に学生や、勤め人の方で免許を持たない人、あの坂が怖くて車やバイクに乗れない人、色々事情があって、バスを利用するしか坂を上り下りすることが出来ない人にとっては、不便極まりない土地柄という事になる。私でさえも、78歳になった今、もし運転に支障を来し、免許所有不適格となったときは、どう暮らせばよいのか？その点について強い不安を感じている。郵便局や銀行、警察、日々の買い物等々不便になるのは目に見えている。公私に関わらず、せめて西大路通りまででも、いまして、バスの便が増えれば、非常に便利になると思うが？</p> <p>しかし、現状では、交通の便が悪すぎる。時間帯によっては1時間に1本というのは僻地並み。京都市内とは思えない。大きなバスは要らない。小さくても良い。本数をもっと増やすべき。安くて良質な住宅を求めて来る学生も、この不便さに辟易して1年を待たずに下へ移転していく。</p>	<p>第3章 北区のまちの将来像を実現するための施策・取組</p> <p>9 便利で快適な生活基盤の整ったまちの創造</p> <p>(2) 利便性の高い交通環境づくり</p>
<p>老人（特に歩けない者）の通院用デマンドバスを出してほしい。北区内でA地区、B地区、C地区と区分けして、ことに急坂地帯に重点的に。</p>	
<p>公共交通の便を良くする事は、運転に不安を持つ高齢者等の福祉につながります。西賀茂車庫もすぐそこにあります。行政がどうすれば交通弱者を救えるか考えて頂きたいと思います。私達も北区の住民ですから。</p>	
<p>北部3学区支援は賛同するが、旧市街地（北山通り）との間にはさまれた中間地合いのインフラ対策（特に道路・交通）が必須である。（ハード、ソフトとも）（3学区で人口4万 北区の1/3を占めている）</p>	

ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に関連する施策など
<p>区役所・青少年活動センター，大学・商店街・寺社の連携が必要。それぞれの持ち味と強みを生かし，一体的なまちづくりが必要。</p>	<p>第5章 北区基本計画をすすめるために</p>
<p>様々な主体が参画して進めるまちづくりについて 2まちづくりの方向性と課題(1)まちのいいところ で挙げられている①②の資源。これまでは、地域コミュニティや林業などの産業はこれらをつくりあげ守ってきました。しかし、地域コミュニティの弱体化や林業の衰退などが叫ばれる中、環境を維持、向上してきた主体に対応する必要性が迫られています。 そうしたことに対して、様々な主体が参画した区民が主人公のまちづくりを推進することには賛成ですし、北区に住んでいることへの誇りや想いを一層高めるための、3つのプロジェクトの必要性も感じます。 但し、計画を実際に推進、運営する部分での具体性に欠けると感じております。計画内容の充実だけでなく、地域の魅力を最大限に引き出し、演出すること＝「北区のブランド化」を図ることで、多様な主体の参加を促し、有機的に人と事業を繋げていくことが可能になります。 過疎地域でのまちづくりにおいて、ブランド化に成功し、魅力を効果的に伝えている一部の地域は取り上げられ生き残っていき、その他多くの地域は、撤退も含めた廃村の道を進むこととなります。同じく北区のまちづくりにおいても、他の行政区や市町村との住み分けを行い、ブランド化を図ることで、魅力的な人が集まり誇りあるまちで在り続けられるのではないのでしょうか。 しかし、ブランド化については、多くの企業も頭を悩ませ、CM・C I・C S R等に多額の資金をつぎ込み構築を図っています。 そもそもブランドとは、企業や商品が消費者に伝えたいメッセージであり、目に見えないものである。言い換えれば、伝えたいメッセージのないところからブランドは生まれず、伝えたいメッセージがあっても、的確に表現できなければ、消費者には届かない。 企業においては、経営者が思い描くメッセージを「可視化」して表現し、ブランドの構築につなげていく。ブランドの世界観を作り上げ、コントロールしていくアートディレクターの存在が重要視されています。 北区のまちづくりにおいても事業を推進する役割（北区基本計画推進会議）とは別に、そうした役割を担う人やチームを編成する必要があると思います。専門的な知識や経験を有するので、外部の委託することも含めた重要度の高い存在として、ブランド化を図る検討チームを編成していただければ、計画の推進をより充実したものとし、魅力的な北区のまちづくりが行われるものと考えます。</p>	<p>推進組織の具体化にあたって参考にさせていただきます。</p>

ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に関連する施策など
<p>何事も、地域で汗を流し、地道に取り組み、名利を求めず、ボランティア的に生きている人々にこそ、敬意を評し、実践を教訓化できるものをくみだしていける行政担当者の輩出こそがこの北区基本計画（素案）実現の第一歩につながると思います。</p>	<p>第5章 北区基本計画をすすめるために</p>
<p>長期計画は総花的、総論的になるのはやむを得ない。そのため10ヵ年を3・3・4年の区切りをつけた「実施計画」を策定し（市は5年である。各年度計画の策定・実践は当然のこと）毎年、前期（3年）、中期（3年）、後期（4年）計画を実績に応じて見直し、公表してほしい。（一定のローリングプラン）</p>	<p>推進組織の具体化にあたって参考にさせていただきます。</p>
<p>新しい北区基本計画（素案）概要版を読んだ範囲で提案させていただきます。</p> <p>提案1 10の取組目標とその取組内容などで「例えば」ということで、具体的な取組が挙げられていますが、それぞれの取組の10年間のうちタイムスケジュールはどのようになるのか、わかるようになるのは、これからのことでしょうか。いわゆる「年次計画」のようなものを作成されるのでしょうか。（未定の項目もあるかとは思いますが）</p> <p>提案2 それぞれの具体的な取組に対して、達成目標として具体的な数値・指標（開催や実施などの回数や率など）を設定してはどうでしょうか。（設定の難しい取組もあるかとは思いますが）そうすることが、取り組む主体である地域住民の皆様等のモチベーションを高め、達成感を実感できるのではないのでしょうか。また、10年間のうち途中での進捗状況を把握する（進行管理）ひとつの指標として活用できると思われま。</p> <p>提案3 10の取組目標をその取組内容などにおいて、京都市基本計画第2次案で「各政策分野の指標と目標値の例」として掲げられた項目で、個人や地域などで取り組める項目については、具体的な取組例として北区基本計画に掲げたらどうでしょうか。また、その場合、その達成目標として具体的な数値や指標（開催や実施なその回数や率など）を設定してはどうでしょうか。（設定の難しい項目もあるかとは思いますが）</p> <p>（例）◎家庭ごみ排出30%減 ◎放置自転車台数の2,800台の減 ◎「地下鉄の旅客数1日当たり5万人増」を図ること ◎「京エコドライバーズ宣言者数を増やすこと」及び「エコドライブ事業所数を増やすこと」◎環境家計簿をつける</p> <p>提案4 京都市の厳しい財政状況の中、予算の裏付けはどうなるのでしょうか。もしも、今時点で予算付けができない場合、そのような事情を記述することは必要ないのでしょうか。（すべて京都市予算とは限らないと思いますが）このことは、北区だけのことではなく、また京都市基本計画についても同様だと思いますが。</p>	

3 まちづくり全般に関するご意見

まちづくりを進めていく際に配慮すべき事項、留意すべき事項として受け止めます。

ご意見
<ul style="list-style-type: none">・ 1～10の取組み、よくひろい上げてられると思いました。ただ、このあとの具体的実行と目に見える成果が大事だと思います。・ 空き家、空き家店舗の活用は北山三学区だけでなく、例えば北区紫野学区でも露地の奥だけでなく、表通りでもすすんでいます。町中の限界集落化が起こっています。防災防犯面でも対処が必要です。
他区・他市町の取組み（効果的な）をもっと調べては。
区役所をお願いしたいのは、今後、大きな方向性の中で区民のアイデアを募集し、コンテストするような方法で進めていただければ如何でしょうか？
いずれの計画も良いと思いますが、京都市の経済状態が悪いと聞いておりますのでこれ以上の累積赤字が増えないよう、破綻する事のないよう、検討していただきたく思います。
生涯学習の充実をうたっているにもかかわらず、衣笠学区の衣笠小学校内に併設されている「衣笠小学校地域開放図書館」の購入書籍代が削減されていると聞きました。とても気になります。年金生活で本購入が大変難しい現在の生活では、この地域開放図書館はなくてはならない存在です。よろしくお願い致します。
もっと観光客に来ていただきたいのですが北区にはホテルがありません。金閣寺にあったホテルが無くなってから久しいのですが、適当な土地が無いためか立地に名乗りを上げるところがありません。そこで、私は、小学校や中学校の廃校に誘致したら良いと思いますが、如何でしょうか？こういうことも基本計画の推進の中で検討していただきたいというのが私の意見です。その他は良くできていて素晴らしいと思います。
各町内のアイデアを盛り込んでもっと北区らしい計画にしていいただければと思います。例えば鴨川を生かした取組みとか船岡山を使った催しとか北区の特長を生かしたアイデアを盛り込んでいただきたいと思います。
北区一軒一軒の声を聞くべし。
区民という個人のレベル、地域という集団のレベルの中間的な、かつ基本的なレベルとして「家族」「家庭」があると思います。ルールやマナーを守ることや、人権などの点で非常に大切な単位と思います。簡単でもよいので、これに触れてはどうでしょうか。
隠れた観光資源の情報発信は、観光客の誘致に必要かもしれませんが、人が集まり過ぎると騒然となってしまいます。この兼ね合いが難しいですね。
‘健康で安心して住み続けられるまちの創造’について (2) 安心・安全のまちづくり…たばこのポイ捨て、家の中に捨てられている。たばこのポイ捨て禁止。又、犬の散歩のおしっこ、ウンチの始末。おしっこについても、水のペットボトルを持ち歩き、おしっこの所に必ず水をかけて環境のためにも臭いを消す。次の犬が同所でおしっこをしない様に「水持参」の強制を区民・市民しんぶんで体制化を願う。 (3) 地域における福祉活動の推進(4) 高齢者の生活支援の推進…高齢化に伴い、高齢者が住みやすい社会環境の形成を願う。高齢者宅への支援訪問・見守りが地域で積極的に取組まれていることを願う。社会福祉協議会についてももっと個人的な身近な頼りがいのある社会福祉協議会であるように願う。形がい化し、名のみでは困る。個人的には何もしてもらっていないというのが実体なのではと思われる。敬老の日も88才、90才になっても一律の記念品のみ。他の区はいろいろしてもらったはります。チラシではしていることがもっともらしくいろんなことを書いていますが、何の連絡も通知もありません。もっと皆に行事等の参加が出来るようにして下さい。もっと高齢者にとってより良い社会福祉協議会を願います。

4 計画（素案）に対する感想など

ご意見
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の各町内会の委員は高齢代，重任が多くマンネリでは。（重任は最大5年程度に。70才を定年にするとか。） ・学区毎の取組みを5年計画ぐらいで各自治会単位に。（救護，防災等）
<p>区役所からお仕着せで与えられた計画ではなく，区民一人ひとりが自ら考え，具体化していく計画で，区役所からのお仕着せの計画ではないことを評価します。何処で決められ誰が進めているのかわからない計画ではなく，自分たち自身の計画になるよう，私自身も，推進のできるだけ参画したいと思います。その意味でも，計画は細かなメニューではなく，おおきな方向性にとどめて書かれているのも適当だと思います。</p>
<p>内容が抽象的ではないかと感じた。</p>
<p>市や区の財政の厳しさを明らかにしたうえで議論する方が良いと思います。</p>
<p>区民との共汗で進めていくことの大切さを考えました。今後，何らかの協力をしたいと思います。</p>
<p>北区の自然を守ることを大きな目標とすることは大賛成です。10年後，もっと美しい区にするため，私も努力します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも理解しやすい表現の文章にするべきで，ボヤシすぎ<原文ママ>と思われます。 ・相変わらず，役所の方達は，「してやっている」の姿勢がまだまだ見受けられます。
<p>北区基本計画（豪華）をもっと潤沢に配布した方がよい。58軒（戸）のマンションに全く足りていない。この提案・意見応募用紙に比して全く足りない。</p>
<p>全体的に具体性に欠ける計画と思う。</p>
<p>鴨川や大文字，植物園など，近くに環境の良い所が多く，北区に住みたい人が多くなり，昔とは少し変わってきました。有名な大学や小学校が出来，高いレベルの空気を感じます。京都は観光都市でもあり景観を特に気にしているのは，良い事で，10年先，20年先も，京都，北区に住めて良かったと思え，大人も子供も，一人暮らしのお年寄も安心して，どこでも行ける北区内であります様にとと思います。</p>
<p>いまひとつ，理念を感じさせるビジョンではありませんでした。しかし，このような取組みはたいへんうれしいことです。裏面の提言は市レベルの話かもしれませんが，ご検討願えればうれしい。住民皆で町を作るという意識は大切だと思います。（お役所をお願いするばかりでなく）</p>
<p>「2 まちづくりと方向性と課題」で，まちの良いところとして「居住環境の素晴らしさ」と「自然環境の素晴らしさ」が掲げられているのですが，これをどのように施策の展開につなげるのかという整理がないのでは。また，いくつかの課題が掲げられているのですが，これらの課題を解決するために施策があるべきなのに，施策との関連性が示されていないのは不自然。課題と施策の関連を示すべきではないか。</p>
<p>北部（中川・小野郷）は地理的にも文化的にも右京区に近いので，区界変更しては？</p>
<p>よくわからない。</p>
<p>第5章，「4 北区の取組」についてですが，区役所（だけが，ととらえられかねない）は前記の推進組織の運営を支える，などと書かれているが，大丈夫？NPOや企業，大学など，区役所では到底運営を支えられない組織が列挙されているが。これはやはり，市全体，はたまた京都府とか行政全体で支えないと無理では。このままでは不可能なことを記載していることになる危険性があります。</p>
<p>この計画が実現されたらすばらしいと思いました。早く出来る事から1つずつ取組んで頂きたいと思います。行政や事業者の呼びかけにより，私にも出来る事があれば，お手伝いに参加したいと思います。今現在は元気です。</p>

あまりに項目が多く現実に実行できるでしょうか。絵に描いた餅になりませんか。
一般的に特に問題ないと思います。
地元で収入を得られることをもう少し考えていただきたいと思います。ハローワークなどで仕事を探していると、特技も資格もなく中年になると北の方ではほとんど求人がないようで困っています。
環境力、連携力、人間力という3つのプロジェクトがおもしろいです。北区を元気にしてください。
ぜひ、学生さんなどの若い方の力が発揮できますように。
開発も必要と思いますが、すばらしい自然と伝統を残してください。
北区のまちづくりのイメージについては、これが実現できたら素晴らしいだろなと思いますが、また行政の姿勢としては一定評価できますが、地域への具体化、住民の実感としては未だ程遠いものがあります。
区計画として全体像は網羅的で、よくとりまとめられていると思われる。第3章の例示があるが、10年後の青写真がほしい。